



2022（令和4）年7月29日

各 位

会 社 名 エ ヴ ィ ク サ ー 株 式 会 社  
（コード：4257 TOKYO PRO Market）  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 CEO 瀧 川 淳  
問 合 せ 先 管 理 部 長 内 田 優 希  
TEL 03-5542-5855（代表）  
URL <https://www.evixar.com/ir>

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年2月14日に公表した2022年12月期（2022年1月1日～2022年12月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2022年12月期通期業績予想数値の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	250 ～287	7 ～42	6 ～41	5 ～35	2.04 ～13.04
今回修正予想（B）	250 ～270	△35 ～△9	△29 ～△3	△29 ～△3	△10.82 ～△1.46
増減額（B-A）	0 ～△17	△42 ～△51	△35 ～△44	△34 ～△38	
増減率（%）	0.0 ～△5.9	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （2021年12月期）	127	△93	△122	△107	△40.93

## 2. 修正の理由

2022年12月期の業績予想に関して、当中間会計期間（2022年1月1日～2022年6月30日）においては、まん延防止等重点措置の継続的発令を含め、引続き新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による外部環境の影響を一定程度受ける中ではありましたが、映画を中心としたエンターテインメント関連が復調傾向の中、順調に推移するとともに、収益型ペンライト・グッズ開発による用途追究や Web ブラウザ対応等の With コロナの環境下に対応した既存事業の挺入れによる取組みが奏功しつつあり、一部売上構成の変更やアップサイド要因の見直しはあったものの、売上高及び売上総利益は全体として堅調に推移しております。

一方、販管費につきましては、従前より推進しております特許及び商標の国際展開に関する各国における許可査定や当局対応に伴う関連費用が当中間会計期間において想定以上に集中的に発生したことに加え、当中間会計期間における事業進捗状況に鑑み、今後の事業開発の更なる推進や当社の認知度向上及びプロモーションを図るためのリ・ブランディングに関するコンサルティング費用等、将来的な成長に向けた投資を積極的に行いました。

以上を踏まえ、2022年12月期通期業績予想に関して、特に販管費についての見直し・精緻化を図った結果、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表予想を下回り、赤字となる見込みとなりました。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものであり、実際の業績等は様々な要因によりこれら予想数値と異なる可能性があります。

以上